

# 令和3年度病害虫発生予察注意報第1号

令和3年4月30日  
愛知県

作物名：ムギ  
病害虫名：うどんこ病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠
  - (1) 4月下旬に県内10地点、20ほ場で実施した巡回調査において、ムギ類うどんこ病の発生ほ場率が60.0%（平年13.50%、前年40.00%）、発病茎率が24.50%（平年4.97%、前年17.50%）と過去10年で最も高かった。また、一部ほ場では、上位葉や穂に進展が確認されている。
  - (2) 冬季の気温が高く経過したため、コムギが繁茂しているほ場が多い。
  - (3) 本県の主力品種である「きぬあかり」は「農林61号」と比較してムギ類うどんこ病にやや弱い。
- 4 防除対策
  - (1) 葉色が濃いところ、倒伏しているところでは、うどんこ病が発生している可能性が高いため、特に注意する
  - (2) 穂及び止葉を含む上位2葉に多発すると、千粒重が低下する。上位葉に病斑の進展がみられる場合は、下表を参考に防除を行う。
  - (3) 本病の病斑は、下葉から発生し、上位葉に進展するため、下位葉に届くように農薬を散布する。
  - (4) 耐性菌の発生を防ぐため、FRACコードを考慮し、農薬の連用は避ける。

表 ムギ類うどんこ病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
麦類	バンチョTF顆粒水和剤	収穫14日前まで	2回以内	散布	U6, 3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布 無人航空機による散布	3
	カナメフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
小麦	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布 無人航空機による散布	3
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	プロパティフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	散布	50

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code\\_pdf01\\_2021.pdf](https://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code_pdf01_2021.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

- 5 連絡先  
農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話 0561-62-0085 内線471